

「当センターにおける術後再発膵癌の治療」に関する研究

1. 研究の対象

2013 年 1 月以降、当院で術後再発膵癌と診断され、当院肝胆膵内科での化学療法を含む治療を受けた方

2. 研究の概要

研究の目的

膵癌は未だ予後不良な疾患で、術後再発を認めた膵癌については化学療法を中心とした療法が行われています。近年、遠隔転移を伴う切除不能膵癌、局所進行切除不能膵癌に対しては、ゲムシタビン・ナブパクリタキセル療法や FOLFIRINOX 療法などの化学療法の進歩によって、治療効果が得られ生存期間の改善が報告されていますが、膵癌術後再発症例に対しては、遠隔転移を伴う切除不能膵癌、局所進行切除不能膵癌に準じて治療方針の検討が行われているのが現状です。

本研究では、当院における術後再発膵癌患者の情報を後方視的に集め、様々な検討を行い、新たな知見を得ることを目的とします。

方法

2013年1月以降の当院に診療録が存在する患者さんのうち、膵癌術後再発に対して当院肝胆膵内科にて化学療法を実施した20歳以上のかたを対象として、患者背景、治療内容、治療経過、検査結果、副作用情報などを診療録より収集し、検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別・既往歴などの患者背景、手術前後の治療内容、手術に関する情報、術後経過、膵癌術後再発に対する治療内容および治療経過、検査結果、副作用等の発生状況、カルテ番号など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 大川 和良

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究責任者：大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 大川 和良